

主な取り組み	課等名	事業名	事業内容	決算額	事業実績・成果
庁内体制の充実	企画政策課	多文化共生意識啓発講座	市職員を対象に多文化共生意識啓発のため研修会を実施する。	—	令和2年3月10日に研修会を実施する予定であったが、新型コロナウイルス拡大防止のため、開催を中止とした。
		翻訳機購入	外国人市民への行政サービス及び対応等をスムーズに行う事を目的とし購入(LANGIE)。	27,712円	翻訳機を購入し、各課に貸し出しを行う。
	市民課 (中央駅前出張所)	翻訳機購入	外国人市民への窓口対応をスムーズに行う事を目的とし購入(POCKETALK)。	32,270円	外国人市民への窓口対応をスムーズに行うため活用する。
	健康増進課	翻訳機購入	相談、健診、訪問事業などにて、外国人市民への対応をスムーズに行い、適切な行政サービスを提供することを目的として購入(POCKETALK)。	30,132円	相談、健診、訪問事業などにて、外国人市民への対応をスムーズに行い、適切な行政サービスを提供するため活用する。
市民団体や関係機関などの連携及び協力体制の整備	シティプロモーション課	東京オリンピック・パラリンピック誘致等推進	該当事業なし		
	企画政策課	印西市国際交流協会事業支援	市の国際化推進に係る施策の一翼を担う市国際交流協会の事業を支援するため、補助金を交付する。	500,000円	市国際交流協会に事業支援として、補助金500,000円を交付した。
行政サービスの充実	秘書広報課	①印西市公式ホームページ運用管理委託 ②印西市公式ホームページリニューアル業務委託	速報性に優れたインターネットの特性を活かし、市政に関するさまざまな情報を迅速かつ確実にホームページを活用して提供する。また、今年度はホームページのリニューアルを実施した。 ※契約期間:①平成31年4月1日～令和2年3月31日 ②令和元年8月1日～令和2年3月31日	①2,868,444円 ②4,130,500円	ホームページの翻訳機能を活用した市政情報の提供に努めた。また、多言語(英語、中国語(中文簡体・中文繁体)、韓国語)の翻訳精度向上を図るため、職員研修を通じ、ホームページ作成の際に必ず逆翻訳を行うよう周知した。なお、今年度はトップページのデザインを含め、分かりやすさの向上等を図るため、ホームページのリニューアルを実施した。
		外国人市民意識調査	多文化共生のまちづくりを推進するにあたり、外国人市民の生活やニーズを把握し、今後の施策への参考とするため、市内在住の外国人市民を対象に、意識調査を実施した。	1,903,000円	外国人市民の実情を把握することができた。調査結果は、令和2年度に策定する国際化推進方針に活用する。 調査対象:印西市の住民基本台帳に登録されている満18歳以上の外国人市民 調査方法:郵送によるアンケート調査(令和元年8月1日～8月31日) 回収状況:発送数1,846件、回収数643件、回収率34.8%
	企画政策課	広報いんざい1日号(抜粋)英語版作成	外国人市民への情報提供を充実させるため、広報紙の抜粋を英訳し、市役所や公民館等への設置や、市ホームページに掲載する。	96,000円	毎月1回計12回、INZAI NEWS LETTERを発行した。
		広報いんざい15日号「外国人のみなさんへ」掲載	外国人市民への情報提供として、広報いんざい15日号に「外国人のみなさんへ」を掲載する。(翻訳代)	24,000円	毎月1回計12回、広報いんざいに外国人市民への情報提供とした記事を掲載した。

主な取り組み	課等名	事業名	事業内容	決算額	事業実績・成果
行政サービスの充実	企画政策課	外国人のための無料相談	外国人市民の生活支援として、外国人市民を対象に法律や生活に関する相談に対応する。 ※市国際交流協会との共催事業	—	市国際交流協会所属の行政書士を相談員として、生活に関する相談に対応した。 相談件数:2件
		印西市国際化推進懇談会	市の国際化推進について、国際交流関係者、学識経験者、公募市民、外国人市民を委員とした会議を設置し意見交換する。	30,000円	市の国際化推進について意見交換のため会議を開催した。 会議開催回数:1回 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、1回中止とした。
	商工観光課	観光振興事業	「まっぶる印西市」英語版の配布	—	平成30年度に作成(5000部)した「まっぶる印西市」英訳版を市役所、支所、観光イベントなどで配布した。
	クリーン推進課	ごみの減量化・再資源化事業	家庭ごみのごみ出しルールをまとめた「資源物とごみの分け方・出し方」のやさしい日本語版(平成30年度作成)、外国語版(英語・中国語・韓国語・平成27年度作成)を引き続き配布する。	—	「資源物とごみの分け方・出し方」のやさしい日本語版(平成30年度作成)、外国語版(英語・中国語・韓国語:平成27年度作成)を引き続き配布すると共に、ごみ分別アプリ「さんあーる」の外国語対応について検討を行った。
	健康増進課	外国語版母子健康手帳の発行	言語の差異なく母子保健に関する知識普及を図り、必要な保健サービスが受けられるようにするため、日本語が分からない家庭の妊娠届出の際に、母子健康手帳を外国語版(英語・中国語・韓国語・タガログ語・タイ語・ポルトガル語・インドネシア語・スペイン語・ベトナム語)で発行する。	24,624円	妊娠届出の際、届出者の申し出により外国語版の母子健康手帳を発行する。 【外国語版母子健康手帳 交付実績】 英語:8冊、中国語:1冊、スペイン語:1冊
英語版健診票等の作成		外国人市民の健康問題の早期発見及び育児不安の軽減等を目的とし、各種相談等で使用している書類を翻訳し理解を深め対応につなげる。	60,000円	乳児相談票及び幼児健診票、離乳食の進め方リーフレット、聴力発達チェック表英語版を作成し活用した。	
地域への参加の促進	防災課	防災訓練	引き続き、地域住民の災害に対する防災意識の高揚と防災力の育成、関係機関との連携強化等、有事に備えた各種訓練を実施する。 また、自治会・自主防災組織に呼びかけ、外国人市民の積極的な訓練参加を推進する。	321,519円	天候不良により中止。
	市国際交流協会	外国人市民との交流事業	外国人市民を対象にイベントを実施し、外国人同士の交流や日本人との交流を促進する。 ※一部、企画政策課との共催事業	—	フレンドシップカフェ(9回)、外国料理教室(ペルシャ料理・参加25人)、社会見学バスツアー(アンデルセン公園・参加35人)、異文化理解のための出張講座(参加30人)等のイベントを開催予定。 ※コロナウイルス感染防止のため、ワールドフェスト、フレンドシップカフェ(2月・3月)は中止。

主な取り組み	課等名	事業名	事業内容	決算額	事業実績・成果
	市国際交流協会	日本語教室	外国人市民を対象に日本語習得を支援するとともに、他の外国人や日本人との交流機会を提供する。	—	市内5箇所です5クラスを運営した。 ・火曜日クラス(ふれあいセンターいんば):5カ国 5人 ・水曜日クラス(中央駅前地域交流館):10カ国1地域 29人 ・木曜日クラス(中央公民館):5カ国1地域 9人 ・土曜日クラス(そうふけ公民館)5カ国 8人 ・日曜日クラス(小林公民館):7カ国 23人
幼少期から青少年期までの国際理解教育の充実	企画政策課	幼稚園・小中学校異文化理解推進事業	市立幼稚園及び小中学校に外国人講師を派遣し、母国紹介を通して異文化交流をする。	35,000円	小倉台小学校と滝野小学校にて異文化理解推進事業を実施した。 【参加人数】 小倉台小学校:178人 滝野小学校:67人
	保育園	ハローフレンズ	市立保育園児が外国人講師とその講師の母国語を使って触れ合うことにより、他の国の言語や文化に親しむ。	66,500円	【木刈保育園】 4回 72人(1回につき18人) 【内野保育園】 4回 84人(1回につき21人) 【高花保育園】 4回 84人(1回につき21人) 【もとの保育園】 4回 92人(1回につき23人) 【西の原保育園】 4回 96人(1回につき24人)
		中学生海外派遣研修	市内在住の中学生を海外に派遣する。	8,215,560円	市内在住の中学生20名をオーストラリア(メルボルン近郊)に派遣し、ホームステイや現地校で交流した。また、文化遺産めぐり異文化理解を図るとともに、現地校での英語研修を行い実践的な英語コミュニケーション能力の向上を図った。引率は4名で行った。
	指導課	国際理解教育推進事業	外国語活動等英語教育において実践的コミュニケーション能力を育成するため、英語を話す外国語指導助手を市立小中学校に配置する。また、年間10日程度、市立幼稚園にも派遣する。	53,040,000円	外国語指導助手11名を配置し、小学校・中学校における英語教育の充実及び実践的コミュニケーション能力の育成を図った。また幼稚園に年10日程度配置し、異文化を体験するとともに、英語への興味・関心を高めた。
		小学校英語教育	外国語・外国語活動における学習の充実及び研究を推進するため、小学校を研究指定する。指定校には日本人の英語教育コーディネーターを配置する。	5,546,356円	外国語活動研究指定小学校12校に6名の英語教育コーディネーターを配置し、外国語・外国語活動における学習の充実及び英語教科化に向けた研究を推進した。
		イングリッシュ・トレセン	夏季休業中に小学3・4年生及び5・6年生を対象に英語でコミュニケーションを図る楽しさを体験し、英語運用能力の育成を図る。	24,759円	7月の夏季休業中に、小学3・4年生対象の「トレセン ホップ」と、5・6年生対象の「トレセン ステップ」を平岡自然の家にてそれぞれ1日ずつ実施した。派遣会社インターラックからALTを派遣してもらった。印西市国際交流協会へボランティアの依頼をした。
地域における多文化共生意識の啓発	企画政策課	異文化理解講座	市民への異文化理解を推進するため、外国人市民などを講師に、母国紹介を通して異文化交流をする。	42,000円	6回の異文化理解講座を実施。 【参加人数】 144人 ※内訳 1回目(アメリカ):27人、2回目(韓国・市民アカデミーと共催):21人、3回目(ベトナム):27人、4回目(タイ):21人、5回目(イギリス):33人、6回目(中国):15人
	市国際交流協会	語学(英語・中国語・韓国語)講座	階級別けたクラスで、各語学の習得の場として実施。	—	市内3箇所です9クラスを運営した。 英語 ・火曜日(初級)クラス(中央公民館):31回(1回あたり平均11人) ・水曜日(中級)クラス(中央駅前地域交流館):37回(1回あたり平均12人) ・金曜日(初級)クラス(中央公民館):31回(1回あたり平均8人) ・金曜日(中級)クラス(中央公民館):31回(1回あたり平均12人) 中国語 ・金曜日(初中級)クラス(中央駅前地域交流館):34回(1回あたり平均10人) ・月曜日(入門)クラス(協会事務所):23回(1回あたり平均2人) 韓国語 ・木曜日(初級A)クラス(中央公民館):35回(1回あたり平均6人) ・木曜日(初級B)クラス(中央公民館):37回(1回あたり平均6人) ・月曜日(入門)クラス(協会事務所):26回(1回あたり平均3人)